

# News Release

2019年3月29日

## バーチャル・リアリティ（VR）で認知症の一人称体験の提供を開始

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上あいおい生命保険株式会社（社長：丹保 人重）は、認知症のある方ご本人や、そのご家族の日常生活を疑似体験（一人称体験）できる、バーチャル・リアリティ（仮想現実、以下VR）映像の提供サービスを開始しました。

VRによる一人称体験を通じて、認知症のある方の行動や気持ちを想像・理解し、認知症に対する偏見をなくしていくことで、ご本人やそのご家族が幸せに暮らすための支援を行ってまいります。

### 1. 映像の内容

#### (1) VR認知症タイトル

「VRやすおじいちゃん物語※」

※原作：「やすおじいちゃん物語」

作者：岩手医科大学 神経内科 故・高橋 智 氏



#### (2) 内容

「やすおじいちゃん物語」は、認知症のある方の本人の視点で、周囲との関わり方による感じ方の違いや、それによる行動・心理症状を体感できる一人称のVRコンテンツです。同じ家族との関わり方を2通り体験し、関わり方の違いによってご自身がどのような心理的变化を感じるかをわかりやすく体験できます。

Part	内容	映像
1	“物忘れ”が主な症状のやすおじいちゃんが、周りの人の関わり方や雰囲気により、不安や嫌だという気持ちになり、家から逃げて行くように出て行ってしまうストーリー。	
2	“物忘れ”が主な症状のやすおじいちゃんが、家族の関わり方や温かく優しい雰囲気により、安心した気持ちで、家族と楽しく幸せに過ごしているストーリー。	

#### (3) 映像提供協力

株式会社シルバーウッド（※）

※サービス付き高齢者向け住宅を運営。認知症の症状を一人称で体験し、理解を深めてもらうため、VRによる認知症体験プロジェクトを全国で展開。

## 2. 当サービスの活用方法

「VRやすおじいちゃん物語」のチラシに掲載されている2次元コードをスマートフォンで読み取り、当社専用のVRscope®を使用して、代理店・お客さまにVR映像を体感いただけます。

認知症があっても幸せに暮らすためには、危険を回避するためにただ管理するのではなく、“今”の心地よさや、親しい人との安心できるコミュニケーションが取れるかが重要であることをお伝えするとともに、認知症のある方ご本人と家族それぞれが、介護の大変さを家族だけで抱えることなく自分らしく生活するためにはどうしたらよいかを、お客さまとともに考えてまいります。

### ◇当社主催の各種セミナーを通じて

当社では、「お客さまに医療情報をお伝えする活動」として、最先端の医療を含めた医療技術や予防方法などの情報提供・啓発活動に積極的に取り組んでおり、健康・医療をテーマとしたセミナーを全国各地で開催しています。各種セミナー、健康フェア、勉強会等においてVR認知症体験をとおして、認知症の一人称体験をしていただくことが可能です。



### ◇代理店を通じて

お客さまが各種手続きをされる際などにVRを体感していただくことが可能です。

## 3. これまでに提供したVR映像

2017年 5月22日制作：粒子線治療を行う医療機関の施設と隣接しているリゾートホテル

2017年11月22日制作：白内障の見え方

2018年 9月27日制作：分子標的治療の世界

当社は、今後も引き続き、お客さまに役立つ商品・サービスをご提供するよう努めてまいります。

以上

### 本件に関するお問い合わせ先

三井住友海上あいおい生命保険株式会社

経営企画部 広報グループ 富吉・原 TEL 03-5539-8309

営業企画部 販売企画グループ 竹石・平澤 TEL 03-5539-8216